

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成29年11月9日

上場会社名 株式会社SANKYO 上場取引所 東
 コード番号 6417 URL <http://www.sankyo-fever.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 公久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 大島 洋子 TEL 03-5778-7777 (代)
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	21,223	△33.3	△5,576	—	△4,969	—	△3,409	—
29年3月期第2四半期	31,821	△57.4	△1,684	—	△1,757	—	△1,603	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 △819百万円(—%) 29年3月期第2四半期 △2,621百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△42.00	—
29年3月期第2四半期	△19.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	382,377	335,160	87.4
29年3月期	390,585	340,287	86.9

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 334,102百万円 29年3月期 339,484百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
30年3月期	—	75.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	97,000	19.1	8,100	60.1	8,700	127.0	5,800	226.3	71.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー 社 (社名) 、 除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期2Q	89,597,500株	29年3月期	89,597,500株
30年3月期2Q	8,420,959株	29年3月期	8,574,481株
30年3月期2Q	81,176,717株	29年3月期2Q	81,023,402株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や企業業績の好調等を受けて景気回復基調が続いておりますが、一方で地政学的リスクの高まり等、国際情勢が不安定なことから、先行きに不透明感も残る状況にあります。

当パチンコ・パチスロ業界を取り巻く環境といたしましては、平成28年12月に「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」（通称：IR推進法）が成立したことに伴い、カジノを含む統合型リゾート（IR）を整備するための具体的な制度設計を示す実施法案のほか、公営競技やパチンコ等を対象とするギャンブル等依存症対策基本法案が検討されております。こうした流れを受け、当パチンコ・パチスロ業界では依存症対策の一環として、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」（いわゆる遊技機規則改正）が公布され、平成30年2月1日からの施行が予定されております。これにより当社の顧客であるパチンコパーラーは、3年間の経過措置の間に現行規則の遊技機を順次、改正規則の遊技機に置き換えていく必要がありますが、先行きの見通しが不透明であることから遊技機購入には慎重な姿勢を示しております。

こうした中、当社グループはパチンコ5タイトル、パチスロ3タイトルを販売いたしました。パチンコは前期に販売した商品の新スペックでの追加販売等が中心であり、当第2四半期累計期間の売上は低水準にとどまりました。

以上の結果、売上高212億円（前年同四半期比33.3%減）、営業損失55億円（前年同四半期は16億円の営業損失）、経常損失49億円（前年同四半期は17億円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失34億円（前年同四半期は16億円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、売上高96億円（前年同四半期比59.4%減）、営業損失43億円（前年同四半期は20億円の営業利益）、販売台数24千台となりました。

主な販売タイトルは、SANKYOブランドの「フィーバー戦姫絶唱シンフォギア」（平成29年8月）、Bisttyブランドの「エヴァンゲリヲン～いま、目覚めの時～ Premium Model」（平成29年6月）、JBブランドの「新夏祭り」（平成29年6月）であります。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、売上高76億円（前年同四半期比51.7%増）、営業利益12億円（前年同四半期は6億円の営業損失）、販売台数17千台となりました。

販売タイトルは、SANKYOブランドの「パチスロ マクロスフロンティア3」（平成29年5月）、「パチスロ アクエリオンEVOL」（平成29年7月）、「パチスロ ゴルゴ13」（平成29年9月）であります。

(補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高36億円（前年同四半期比34.6%増）、営業利益2億円（同555.5%増）となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高2億円（前年同四半期比11.1%増）、営業損失2億円（前年同四半期は3億円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,823億円であり、前連結会計年度末と比べ82億円減少しました。これは主に、投資有価証券が46億円、有償支給未収入金（流動資産「その他」に含む）が29億円、現金及び預金が16億円それぞれ増加となりましたが、有価証券が110億円、受取手形及び売掛金が75億円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は472億円であり、前連結会計年度末と比べ30億円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が37億円増加となりましたが、電子記録債務が39億円、未払金（流動負債「その他」に含む）が18億円、未払法人税等が14億円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ51億円減少しました。これは主に、その他有価証券評価差額金が25億円、フィールズ株式会社を持分法適用の範囲から除外したことにより14億円増加となった一方、配当金の支払い60億円、親会社株主に帰属する四半期純損失を34億円計上したことによるものであります。この結果、純資産は3,351億円となり、自己資本比率は0.5ポイント増加し、87.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間は厳しい経営環境もあり営業損失となりましたが、パチンコ、パチスロともに年末から年始にかけて現行規則機に対する一定の需要が見込まれ、パチンコ・パチスロメーカー各社は現行規則での新機種型式試験申請とその発売の準備を進めております。

このような状況下、3ブランドを有する当社グループでは、下期はパチンコ、パチスロともに過去から安定した人気を獲得している有力タイトルを含む、多種多様なラインナップの準備を進めており、売上の最大化が可能な販売のタイミングを柔軟に見極めて投入してまいります。従いまして、平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	97,818	99,426
受取手形及び売掛金	18,626	11,061
有価証券	188,007	177,000
商品及び製品	82	1,014
仕掛品	289	210
原材料及び貯蔵品	1,334	2,659
その他	11,407	14,539
貸倒引当金	△13	△1
流動資産合計	317,552	305,909
固定資産		
有形固定資産	44,880	45,459
無形固定資産		
のれん	267	199
その他	319	263
無形固定資産合計	586	463
投資その他の資産		
投資有価証券	21,612	26,245
その他	6,357	4,702
貸倒引当金	△24	△22
投資損失引当金	△379	△379
投資その他の資産合計	27,565	30,545
固定資産合計	73,032	76,467
資産合計	390,585	382,377
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,607	9,371
電子記録債務	8,113	4,178
未払法人税等	1,623	199
賞与引当金	834	993
その他	5,750	3,979
流動負債合計	21,930	18,722
固定負債		
新株予約権付社債	20,066	20,056
退職給付に係る負債	4,671	4,787
資産除去債務	63	63
その他	3,565	3,585
固定負債合計	28,368	28,494
負債合計	50,298	47,217

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,750	23,750
利益剰余金	335,518	326,628
自己株式	△39,700	△38,781
株主資本合計	334,408	326,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,264	7,805
退職給付に係る調整累計額	△188	△139
その他の包括利益累計額合計	5,076	7,666
新株予約権	802	1,057
純資産合計	340,287	335,160
負債純資産合計	390,585	382,377

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	31,821	21,223
売上原価	14,621	10,414
売上総利益	17,200	10,809
販売費及び一般管理費	18,885	16,385
営業損失(△)	△1,684	△5,576
営業外収益		
受取利息	185	99
受取配当金	332	407
その他	99	104
営業外収益合計	617	610
営業外費用		
持分法による投資損失	686	—
その他	3	3
営業外費用合計	690	3
経常損失(△)	△1,757	△4,969
特別利益		
固定資産売却益	8	—
ゴルフ会員権売却益	—	2
特別利益合計	8	2
特別損失		
固定資産売却損	10	2
固定資産廃棄損	9	10
投資有価証券売却損	—	42
ゴルフ会員権売却損	7	—
特別損失合計	26	55
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,775	△5,022
法人税、住民税及び事業税	322	91
法人税等調整額	△494	△1,705
法人税等合計	△172	△1,613
四半期純損失(△)	△1,603	△3,409
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,603	△3,409

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,603	△3,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,035	2,622
退職給付に係る調整額	33	38
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	△71
その他の包括利益合計	△1,018	2,590
四半期包括利益	△2,621	△819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,621	△819
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,775	△5,022
減価償却費	1,644	1,223
のれん償却額	368	67
株式報酬費用	272	249
引当金の増減額(△は減少)	176	144
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	179	172
受取利息及び受取配当金	△517	△506
持分法による投資損益(△は益)	686	—
売上債権の増減額(△は増加)	15,323	7,565
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,375	△2,176
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,832	△280
その他	△622	△3,219
小計	2,528	△1,783
利息及び配当金の受取額	490	389
法人税等の支払額	△2,879	△1,394
法人税等の還付額	2	242
営業活動によるキャッシュ・フロー	142	△2,545
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△5,548
有価証券の取得による支出	—	△35,000
有価証券の償還による収入	5,000	35,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,005	△1,650
有形及び無形固定資産の売却による収入	22	—
投資有価証券の取得による支出	△30	△9
投資有価証券の償還による収入	20,000	16,000
投資有価証券の売却による収入	—	544
貸付けによる支出	△544	△200
貸付金の回収による収入	—	554
その他	37	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	22,479	9,696
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2	△2
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△6,088	△6,088
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,091	△6,091
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	16,530	1,059
現金及び現金同等物の期首残高	234,905	251,818
現金及び現金同等物の四半期末残高	251,435	252,877

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	23,839	5,037	2,707	31,584	237	31,821	—	31,821
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	23,839	5,037	2,707	31,584	237	31,821	—	31,821
セグメント利益 又は損失(△)	2,005	△653	32	1,384	△352	1,032	△2,716	△1,684

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,673	7,642	3,644	20,960	263	21,223	—	21,223
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,673	7,642	3,644	20,960	263	21,223	—	21,223
セグメント利益 又は損失(△)	△4,321	1,257	212	△2,851	△284	△3,135	△2,440	△5,576

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。